

Saturday

10/20

Sunday

10/21

第35回全九州小学生バドミントン選手権大会準優勝 バドミントンで全国大会へ！

第35回全九州小学生バドミントン選手権大会が長崎県大村市で開催され、多久スポーツピアジュニアバドミントンクラブから徳重瓢くん（東部校）・山崎琉生くん（北方小）が4年以下男子ダブルスの部に出場。全国小学生バドミントン選手権大会への選考も兼ねる本大会で、見事準優勝を果たし、12月に開催される全国大会への切符を手に入れました。

監督の田中昌樹さんは「ふたりともポジティブで、チームワークも良いところが結果につながったのでしょう。全国でも持ち味の元気な試合を期待したいですね」と話しました。徳重くん、山崎くんは「全国の強い選手たちとの試合が楽しみ、ひとつでも多く勝ち上がりたい」と意気込みを話しました。



▲九州大会で準優勝した山崎くん（右）と徳重くん（左）



▲紅葉に照らされて赤ちゃんの頬も真っ赤に染まっています



▲国登録有形文化財の寒鷲亭も休憩所に



YouTube で動画が見えます！



真っ赤な紅葉を楽しむ

孔子の里 紅葉まつり

Thursday

11/15

Saturday

11/24

約180本の紅葉が彩る西溪公園を会場に、孔子の里 紅葉まつり（主催：孔子の里 紅葉・桜まつり実行委員会）が開催されました。

市内外から多くの観光客が訪れ、期間中の土日祝には郷土芸能やライブ、体験イベントを楽しんでいました。サテライト会場の多久聖廟では特別一般公開が行われ、普段入ることができない正面の扉が開き、孔子像などを間近で見ることができました。

市外から訪れた家族は「桜まつりの時にお腹の中に入れた子どもを連れてきました。紅葉がとても綺麗で素敵な写真がたくさん撮れました」と笑顔で話されました。

Saturday

11/17

Sunday

11/18

芸術の祭典

第14回 文化祭り

多久市文化連盟（会長：吉浦啓一郎）が主催する第14回文化祭りが中央公民館で開催され、大ホールでは日舞、民謡、市民劇場などが披露されました。

明治維新150年をテーマに多久の先人の活躍を紹介した、市民劇場「まほろばの郷・多久の群像」を見た観客からは「先人達の活躍に胸が熱くなりました。劇を通して、ふるさと多久市の良さを再確認することができました」と感激されていました。

また、展示部門では写真、絵画、書道、短歌、工芸などの作品や、染色や編み物などの服飾など多数の作品が、訪れた人の目を楽しませていました。



▲息のあった演舞を披露

▲力作が並んだ展示発表